

岡崎城 岡崎市康生町 561 番地 1

享禄 4 年 (1531) に松平清康 (家康の祖父) が現在の位置に移して以来、ここが岡崎城と称されるようになった。天文 11 年 (1542) 12 月 26 日、徳川家康は岡崎城内で誕生し、永禄 3 年 (1560) の桶狭間の合戦で今川義元が戦死したことを契機に岡崎城を拠点に天下統一という偉業への基礎を 19 歳の時に固め、元亀元年 (1570)、家康は本拠を遠江浜松 (静岡県浜松市) に移し嫡男信康を岡崎城主とした。天正 7 年 (1579) に信康が自刃したあとは重臣の石川数正ついで本多重次を城代とした。天正 18 年 (1590) に家康が秀吉によって関東に移されると秀吉の家臣田中吉政が城主となるが、家康が江戸に幕府を開いてからは、譜代大名にここを守らせた。岡崎城は、山頂に本丸が置かれた平山城として築かれていたが本多康重から 3 代忠利 (1600 年 (慶長 5 年) ~ 1645 年 (正保 2 年) にわたる) の改修によって平城となっている。(掲示板)



竹千代と家康の座像



家康の立像



18 代当主恒孝寄贈の家康しかみ像



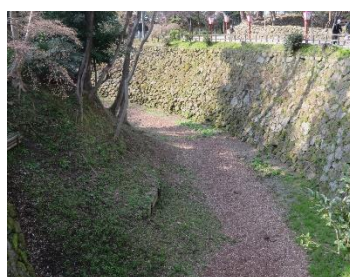
馬にまたがる若き家康



徳川 4 天王の本多忠勝像



からくりの家康



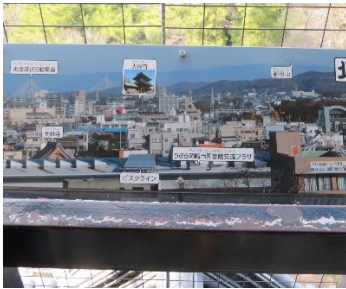
本丸北側を守る曲線的な清海堀(岡崎城の最初の築城者西郷頼嗣の法名に因み付けられた)



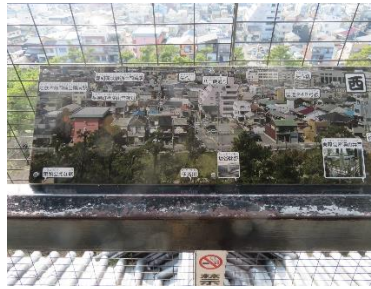
大手門



天守



天守から北側



天守から西側



天守から南側



二の丸の井戸



説明掲示板

### 岡崎城

15世紀中頃(室町時代)、西郷孫正左衛門頼朝(頼朝)が現在の岡崎城の位置にはじめて城を築き、のちに家康の祖父である松平清康が入城し本格的な岡崎城を構えた。1542年(天文11年)12月26日、徳川家康はここ岡崎城内で誕生した。江戸時代、岡崎城は「神君出生の城」として神聖視され、本多氏(康室系統/前幕府)、水野氏、松平氏(徳川)、本多氏(徳川系統/後幕府)と、歴代徳川大名が城主となった。石高は5万石と少なかったが、大名は岡崎城主となることを誇りとしたと伝えられる。

現在の天守閣は1959年(昭和34年)に復元され、3層5階の鉄筋コンクリート構造となっている。2階から4階は江戸時代の岡崎を紹介する展示室で、5階は展望室となっており三河平野を一望することができる。

### Okazaki Castle

Tradition has it that the first Okazaki Castle was constructed at the present site in Sago, Okazaki around 1455 by the Saito family. In the first half of the 16th century, the Saito family yielded possession of Okazaki Castle to Mitsuhide Kiyomasa, the 7th lord of the Mitsuhashi family (and the grandfather of Iyeyasu) that had risen into power in zoothern Mikawa.